



タウンと

『コスモスの花が満開！』

今年も10月中旬に、国道220号近く持留川沿いのせせらぎ公園でコスモスの花が満開になりました。

これは、下三文字の中野孝喜さん^{たかき}夫妻がコスモスの植付けから除草に至るまで、1年を通じて管理をしてくださったおかげです。

せせらぎ水路沿い約500メートルの区間に5~6種類のコスモスが、秋空のもと田園をバックに咲き誇り、ウォーキング等をされる大勢のみなさんの心を和ませてくれました。

中野さんの活動は今年で4年目を迎えましたが、「来年以降も続けたい」とおっしゃっています。皆さんの中で“一緒にコスモスを育ててみよう”という方がいらっしゃいましたら、ぜひご参加ください。



『キッズセミナー熱気球体験』

教育委員会が実施しているキッズセミナーが10月4日、大崎町総合体育館で開催されました。

今回は、町内の児童約30人が参加して、熱気球作りに挑戦しました。講師として日本宇宙少年団公認指導者の中山美幸さんが指導にあたりました。

インナーラップという包装紙を木製の型枠どおりに切って張り合わせ、完成した熱気球にガスバーナーの熱気を送りました。すると、“ふわり…”と浮かんでいく熱気球を見た子ども達は、声をあげて喜んでいました。

『益丸海岸清掃ボランティア』

10月15日（シルバーの日）、大崎町シルバー人材センターは、毎年恒例となっている益丸海岸のボランティア清掃を行いました。

この日は、会員と職員を含めて約180人が参加し、砂浜に打ち上げられた、空き缶やペットボトル、発砲スチロールのごみや流木なども拾い集め、海岸はたいへんきれいになりました。

その後、グラウンドゴルフ交歓会やバーベキューなどをして楽しみました。



『クリーンアップキャンペーン』

毎年、春と秋に実施されているクリーンアップキャンペーンが、10月18日、益丸海岸で実施され、約60名の方が参加しました。

これは、単にゴミを拾うだけでなく、散乱するゴミの量、種類、分布などをデータカードに記入していくというものです。

調査は、3人1組でゴミを拾う人とチェックする人に分かれて行われました。特に目立ったゴミは、発砲スチロールやプラスチックの破片、ペットボトル、空き缶などでした。

集められたデータの結果は、漂着・散乱ゴミ問題の改善に向けた提案などに生かされます。